



JAC北九だより

No.75 (平成28年 第1号)

公益社団法人 日本山岳会 北九州支部

kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発行:公益社団法人 日本山岳会北九州支部

支部長 伊藤 久次郎

事務局: 行橋市東泉3-18-10

竹本 正幸方

TEL-FAX 自宅 0930-28-9611

携帯 090-6739-9251

編集人: 事務局(森 義雄)

印刷: 山口県山口市水の上町2-25

内 藤 製 本 所

新年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひします。

北九州支部長 伊藤 久次郎



さて、新年のあいさつはタイトルの2行にして、早速皆さまに報告すべきことや今年は山の日の行事などが控えており、まとめてお知らせいたします。

平成27年度支部長会議の報告

平成27年12月5日(土)、東京・京王プラザホテルで開催された日本山岳会創立110周年記念式典と年次晩餐会に先立って、午前10時30分から支部長会議が開催されました。

最初に小林会長から「再生委員会を設置したので、各支部は意見を出してほしい」とあいさつ。さらに吉川副会長から「会の財政悪化を改善するため再生委員会を設置して検討した結果、準会員制度案が生まれた。6月の総会に諮り、速やかに発足させたい」と説明(詳細は、会報「山」12月号と1月号へ)。

また、大久保副会長からは「冬山指導者講習会の

参加募集」(Eメールで通知済み)について話があった。

議事の会務報告では

○平成27年度新永年会員は36人で、その中に北九州支部会員の松野賢珠氏(No.5998)の名があった。

○ネパール大地震救援募金口座への入金については、28年3月末まで延期。

○マナスル登頂60周年記念事業について、4月29、30日ネパールで式典開催予定。

○「支部に関する規定」の改正について。改正の理由～所属支部を移動する会員の登録事務がスムーズに進まないため。(各届出様式などの会議資料をルームに常備します)

○平成28年度支部助成金及び新入会員報奨金と事業計画・予算の提出についてなどの説明があった。

12月19日(土) 北九州支部 忘年の集い

14498 大木康子・15387 森 義雄



今年最後の山行・忘年の集いは、山行を皿倉山、懇親の場は河内の「あじさいの湯」で開催されました。参加者は懇親会36人、山行は19人でした。

山行組は当日JR八幡駅に午前9時30分集合、帆柱山ケーブル駅までは一般道を歩きました。10時過ぎ、ケーブル駅登山口で現地集合組が合流し、それぞれ足並みに合わせて皿倉山山頂へ向かいました。

皿倉山を経て、権現山山頂で昼食、あじさいの湯へ向け下山、午後2時30分ころ到着。あじさいの湯では、各自疲れをいやすため、入浴。

午後5時からの懇親会まで施設内で休憩しました。

懇親会は、池田智彦会員の司会ではじまりました。

定期総会以来の大勢の会員が久しぶり集まっています。会は支部長のあいさつ、続いて最長老の藤田会員の乾杯で懇親がはじまりました。

今年は、会場内で今年の山行の記録写真を放映。

(7月、支部創立15周年記念山行、風師山での親子登山、サポート登山など) 後立山縦走の参加者の難所越えの写真、幼稚園児と登る風景、親子登山でのスカイ割りなどが写真で披露されました。また、途中、園川顧問による指導員研修状況の紹介、今年度通常会員となった清家幸三会員、田中貴大会員のあいさつがありました。

続いて、会員供出品のオークションに移り、井上禮子会員の司会で次々と品物が売れました。今回、供出していただいた会員の皆様にこの書面でお礼申し上げます。

次に、参加者全員でじゃんけん勝ち抜き戦での賞品争奪がはじまります。勝ち抜きの結果は、A会員が商品券6000円をゲットし、大喜び！参加者全員に商品あり。

賞品については、スポーツ店で働く畑井会員(当日は勤務で欠席)のご好意により、格安で購入できました。ご協力ありがとうございました。

懇親会もなかばとなり、会員のカラオケが続き、午後7時15分大庭前支部長の万歳で閉会となりました。

平成27年は北九州支部創立15周年で、記念山行、親子登山などを実施しました。28年はさらにマナスル初登頂60周年、8月11日の「山の日」制定などに関する記念行事が続きます。会員の皆様のご参加ご協力をお願いいたします。

参加者：36人

会員：伊藤久次郎、大庭常生、原広美、板倉健一、井上禮子、馬場基介、磯野文雄、関口興洋、藤田傳、山田武史、内藤正美、丹下洽、武永計介、大木康子、榊俊一、丹下香代子、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、木原充、池田智彦、赤瀬榮吉、縄田正芳、大神信生、縄手修、森義雄、歳弘逸郎、大谷恵美子、奥田スマ子、三浦利夫、清家幸三、田中貴大、支部友：堀江俊明、加藤信子

12月5日(土) 創立110周年記念式典・祝賀晩餐会 記念山行は本栖湖から見る絶景の富士山！！

15387 森 義雄



晩餐会支部集合写真

12月5日(土)

京王プラザホテルのコンコードボールルームで創立110周年記念式典・祝賀晩餐会が開催されました。北九州支部からは伊藤支部長ほか12人、全国からは約560人の出席がありました。

記念式典は午後5時から始まり、小林会長のあいさつ、来賓の紹介とあいさつがあり、続いて秩父宮記念山岳賞として平出和也会員の表彰、110周年記念事業の報告を尾上昇元会長が行いました。

皇太子殿下もご出席なりましたが、記念式典後に退席されました。

休憩をはさみ、続いて祝賀晩餐会が午後6時過ぎから始まりました。

晩餐会では、新永年会員顕彰があり、当支部からは松野賢珠会員が登壇し表彰を受けました。そのあと、新入会員紹介では、当支部からは当日出席の清家幸三会員、町元里香会員、支部では最も若い22歳の田中貴大会員の3人が紹介されました。続いて学生部男子海外登山隊の紹介、鏡開きが行われ、乾杯のあいさつを森武昭前会長が行い開宴となりました。途中、各支部の紹介も行われ、広い会場内では会員相互の歓談で大いに盛り上がり、午後8時30分すぎ閉会となりました。(詳しくは、日本山岳会会報「山」12月号(NO847)をご覧ください)

12月6日(日) 天候：晴れ

今年の記念山行も昨年に引き続き富士山を見なが

らの場所。精進湖他手合浜駐車場からパノラマ台(展望台)を経て、本栖湖の中之倉峠展望台までの登山コースが設定されました。

登山口から緩やかな登り道を進む。昨年の山中湖東部鉄砲木の頭と高指山のコースに比べると視界がなく、期待する富士山の姿も見えない。登りはじめて1時間20分でパノラマ台に到着。展望台に近づくにつれて視界が開けて、目の前に青木が原と富士山が広がっていた。参加者全員で記念撮影。

富士山を目の前に見ながら昼食。次は中之倉へ向かう。最初は、急なジグザグな登山道を下る。そのあとは緩やかな道を下ることになりました。途中、千円札の図柄にある本栖湖からの富士山の絶景ポイントを眺め、写真撮影。確かにその通りのポイントである。下山開始から1時間30分ほどでバス停に到着しました。

天候にも恵まれ、美しい富士の山を眺め、満足しながら帰路に着きました。ご苦労さまでした。



写真 歳弘会員を囲む新入会員3人のみなさん

参加者：13人

松野賢珠、伊藤久次郎、高島拓生、関口興洋、山田武史、大木康子、竹本正幸、縄田正芳、森義雄、歳弘逸郎、町元里香、清家幸三、田中貴大

10月10日(土)～11日(日)

広島支部との定期交流会と交流登山 由布岳(1583 祝)

2年ぶりの交流再会でにぎわう!!

15387 森 義雄



10月10日から11日、安心院町において広島支部および北九州支部の定期交流会を開催しました。毎年開催されていますが、昨年は同時期台風接近のため中止となり、2年ぶりの交流会となりました。

前回は広島支部主催で三瓶山で開催、今回は由布岳登山の希望もあり、近くの安心院町家族旅行村が

宿泊場所となりました。

当日、広島支部からは兼森支部長ほか6人、北九州支部は18人の参加となり、懇親会は大変盛りあがりました。

また、翌日の由布岳登山は早朝あいにくの雨でしたが、その後天候も回復し、参加者全員で無事登り、下山することができました。

○広島支部 7人

兼森志郎(支部長)、杉村功、宮石惇、山内充人、田賀雅文、三好勇、近藤道明

○北九州支部 18人

会員：伊藤久次郎(支部長)、竹本正幸、原広美、高島拓生、関口興洋、内藤正美、大木康子、榊俊一、竹本加代子、大内喜代子、森本信子、縄手修、森義雄、大谷恵美子、三浦利夫、清家幸三、小林英世、支部友：加藤信子

交流会に参加して

15806 清家幸三

10月10日(土) 天候：晴れ

交流会の参加は、初めてでした。

森幹事の下見で安心院の家族旅行村に決まりましたが、最適な場所でした。

当日は関口さん、大木さんとお出迎えの用意のため現地へ早めに行き、ゆっくりとワイナリーを散策し、ウェルカムドリンクを仕入れました。

午後3時に宿泊場所の夜なべ小屋前駐車場で広島支部の皆さんへの歓迎を込めて、安心院ワインの乾杯で入村式が始まりました。

施設内には温泉があり、懇親会前の入浴を行いゆったりとした時間がとれました。

午後5時過ぎに支部女性部の心のこもった美味しい料理(鍋)を囲み交流会が始まりました。この文面にて女性の会員の皆様に心より御礼申し上げます。おかげさまで、広島支部の銘酒もいただき、会はより一層の盛り上がりで語り合い、歌いあい、楽しい時間を過ごしました。

10月11日(日)天候：雨のち曇り

次の朝は昨夜の鍋の雑炊で食事をとり由布岳に向かいました。途中、雨が降り出して正面登山口に着

いてから予報の曇りのち晴れとは違い、ちょっとまずいと思うくらい雨が本降りとなりました。

約30分ほど登山口で待って小降りとなり、午前7時55分にスタートすることになりました。

2班に分けて進むことになり、私たちの班は先に頂上近くのマタエに午前10時10分に着きましたが、本峰特有のガスと風にみまわれました。朝の雨もあり、お鉢巡りは取りやめて西峰および東峰の折り返しのコースに変更になりました。西峰登山では今季2回の岩登り教室の訓練が生かされ安心して登ることができました。後からの班の皆さんと東峰への登頂時に合流しました。

東峰下山の途中、ガスの切れ間から西峰がくっきり見えたときは、登山者ならではの喜びをかみしめることができました。

マタエで全員が昼食をとり下山の途につきました。下山中も広島支部の人たちと語り合いながら無事に正面登山口に下山しました。午後2時30分すぎ、全員が揃ったところで高島さんが記念写真をとって駐車場に向かいそこで解散式を行いました。

その後、近くの湯布院温泉に移動、由布岳が最高に眺められる露天風呂に浸かり疲れを癒しました。

初めての交流会参加でしたが、広島支部の温情に触れて”友遠方より来るまた楽しからずや”の境地となりました。

11月2日(月)～3日(火) 第31回宮崎ウエストン祭 宮崎支部の心温まるおもてなしに感謝!

15387 森 義雄



写真 親父山山頂

11月2日(月)午後4時、第31回目を迎える宮崎ウエストン祭が宮崎県高千穂町五カ所三秀台で開催されました。北九州支部からは日向副支部長ほか10人が参加しました。

宮崎ウエストン祭は、毎年地元関係者、山を愛する団体・個人、日本山岳会の九州各支部が集まり開催されています。

記念式典は8時のウエストン碑に点鐘し、献花を行い、各団体代表者のあいさつ、詩の朗読、ウエストン祭の歴史の説明などがあり、最後にウエストン祭の歌を全員で合唱、30分ほどで閉会しました。

午後6時からは地区主催の交流会会場へ移動しました。昨年は冷たい雨が降り、室内でしたが今年は天候に恵まれ、屋外での交流会となりました。

会場は神事、神楽、キャンプファイヤー、地元の

女性部の踊りやダンス、本陣太鼓などが次々と披露され、周辺では特産物の販売などが行われ、地区の多くの皆さんも参加されていました。会場内ではかっほ酒がふるまわれ、つまみを片手にお酒を飲みながらの交流でした。

午後8時30分からは宿泊場所のひめゆりセンターで5支部の懇親会が始まりました。宮崎支部の温かいおもてなしによる食事とお酒をいただきながら、懇親を深めました。

2日目(3日)は親父山の記念登山となり、早朝7時過ぎ五カ所公民館を出発し、登山口に移動。午前9時45分登山口出発、親父山山頂に11時40分到着、他の支部は障子岳までの往復をおこないましたが当支部は親父山からの下山となり、午後1時過ぎに登山口に到着。宮崎支部の世話人の方にあいさつし帰路に着きました。

2日間を通して、宿泊・食事の手配、山行案内などをしていただきました宮崎支部の皆さんのおもてなしにあらためてお礼を申し上げます。

参加者：11人

会員：日向祥剛、井上禮子、高島拓生、
竹本正幸、竹本加代子、縄田正芳、
森義雄、歳弘逸郎、奥田スマ子、
清家幸三、田中貴大

月例山行 9月12日 右田ヶ岳(426㍎)～西目山(312㍎) スリル満点の岩場を登る!

北九469 藤原 玲子



写真 右田ヶ岳岩場

天候：晴れ

自宅のある杵築駅を午前6時10分出発。小倉駅で森さん、清家さんと合流し、防府へ向かう。待ち合わせの右田小学校駐車場に午前9時到着。麓から見上げる右田ヶ岳は大きな岩が多く、登れるかなあと少し不安になります。

午前9時10分天徳寺登山口を出発。登るとすぐに歴代住職の墓石群があり、石段と砂利道をさらに進むと視界が開け、岩場にでました。巨石に刻まれた観音堂があっちこっちにあり、目を楽しませてくれます。歴史は意外と浅く大正時代に刻まれたものです。

登るにつれ、岩の段差が大きく、急傾面のところもあり、何度も休憩しながら、やっと右田ケ岳の山頂に午前11時30分到着。風もなく、暑く感じられました。

山頂には、国旗が掲げられていて、登山者が毎日掲げるのかなと思いました。また、山頂から新幹線、国道2号線、高速道路の上下線と4本のトンネルが見え、新幹線の通過を期待しながら、防府市内や瀬戸内海が広がる展望を楽しみました。

全員で撮影後、下山開始。下山途中の大岩壁へ午前12時15分到着、そびえ立つ山々の景色を見ながら昼食をとりました。

下山はさらに厳しく、急な岩場が続き、ロープも備えられています。ロープをつかみながら、見えない足場を確保して慎重に下りました。

やっと一般道に着き、次は勝坂窯の石碑から西目山への登山が始まります。

途中、急な登山道はありましたが、右田ケ岳よりは登りやすく1時間ほどの午後2時43分山頂に到着、そこには電柱と三角点がありました。

西目山は、右田ケ岳と同様に岩峰が目立つ山でローソクみたいにそびえ立つ岩やテーブルのような大きな岩をくぐり、ユニークな岩が多く、まるで岩のオブジェを見ているようでした。しばらく、岩場の稜線歩きが続き、途中に景色の良い岩場があり休憩していると期待の新幹線通過を見ることができた時は



写真 西目山

大変感激しました。

午後4時前無事下山後、今下りてきた岩場を見上げ、こんな大きな岩場を通ってきたと思うと満足感とスリリングな気持ちが交差しました。安全登山のためリードしていただいた歳弘さんをはじめ、皆様にお礼申し上げます。

参加者： 9人

会員： C L 歳弘逸郎、竹本正幸、大内喜代子、森本信子、縄田正芳、縄手修、森義雄、清家幸三

支部友： 藤原玲子

月例山行 9月13日(日) 叶岳(341㍎) ~ 高祖山(416㍎) 古い歴史を感じる高祖山

15710 町元里香



写真 叶岳

天候：晴れ

叶嶽登山口から階段をあがると誓願成就の鳥居が数多く奉納されている。その鳥居が並ぶ参道を登っていく。右手に今日の最終目的地である高祖山が見える。今津灣がよく見える展望所で水分補給。

行程

叶嶽神社駐車場集合8:30~叶嶽登山口8:45~
叶嶽神社・叶岳山頂9:30/9:45~高地山山頂
10:35~高祖山山頂11:45/12:30~鉢伏山観音
13:15~今宿野外活動センター13:30~
駐車場13:45

途中、赤い前掛けをしたなんとも愛嬌のあるダルマ型の石に出会う。急傾斜の階段をのぼり、叶嶽神社本殿に到着。裏手にはトイレもあり、きれいに清掃されている。叶嶽神社の謂れには「往昔、山の名を天狗山と申しけるが、神功皇后三韓進出のみぎり、この所に御心願あらせ給ひてに、御心に叶ひけりて山の名変へて叶嶽と名付け給ふ」(筑前国統風土記)と掲示されている。

集合写真を撮り、叶嶽を後にする。小ピークを越え下りとなる。その後、きちんと整備された登山道を登っていく。

二等三角点のある高地山に到着。まわりの景色が見えないので、少し先のベンチで休憩をとる。あん餅を食べてエネルギー補給をする。

尾根を進むと、涼しい風と木漏れ日とヒグラシの鳴き声が心地よい。防空壕の跡のような大きな2つの穴の先を左に登り、高祖城の上ノ城跡である高祖山山頂に到着。西側の樹の間から、糸島富士と呼ばれている可也山が裾野まできれいに見える。昼食をとり、鉢伏山観音ルートで下山する。沢に沿って下りるため、滑りやすく危険な箇所がいくつかある。荒れた箇所を通り過ぎると大岩や変わった形の大木がある変化の多い道になる。

鉢伏山観音で水分補給をする。鉢伏山観音堂は、聖武天皇が神功皇后の怡土巡遊の聖跡を偲び怡土郡に建立されたと伝えられている七個寺の勅願寺の一つ、鉢伏山金剛寺の跡である。少し下ると沢で遊んでいる子供達の笑い声が聞こえる。今宿野外活動センターに無事到着。



写真 高祖山

初秋の匂いを感じることができた充実した一日だった。次回は古い歴史をもつ高祖山を神社側から、歴史を巡りながら登ってみたいと思う。

参加者： 7人

会員：CL 三浦利夫、SL 榊俊一、大内喜代子、
赤瀬栄吉、森本信子、森義雄、町元里香

12月19日(土)

森林保全巡視員として20人に委嘱状が交付されました

13533 磯野文雄



写真 委嘱状交付

先に森林保全巡視員の更新および新規募集を行い、このたび平成27年11月1日から委嘱期間2年間で、20人の会員が巡視員として委嘱を認められました。

12月19日(土)北九州支部忘年の集いの席上、伊藤支部長から委嘱を受けた会員に委嘱状が渡されました。

森林保全巡視員とは、ゴミの不法投棄や森林火災の防止、高山植物等の盗採及び損傷の防止等について、九州森林管理局長の委嘱を受けて、随時・

任意の時間に巡視して、異常や特別の状況を認められた場合には、森林管理署に文書で報告することを任務としています。

今回、各員は委嘱を受け、活動を開始しました。

◆今回委嘱を受けた森林保全巡視員20人
(平成27年11月1日から平成29年10月末まで任期)

江頭精一、大城戸昌敏、大楠益弘、伊藤久次郎、馬場基介、磯野文雄、三宅清和、高島拓生、関口興洋、太田満、丹下洽、大木康子、榊俊一、丹下香代子、竹本正幸、池田智彦、縄手修、山中秀正、町元里香、清家幸三

月例山行 11月14日(土)~15日(日) 関の山(359㍍)・嘉麻市三高山(251㍍)縦走 三高山小屋で山の歌を唄う

15387 森 義雄



写真 三高山展望台、右端が高島会員

11月14日から15日秋の低山紅葉と宿泊登山ということで、高島拓生会員が嘉麻市から管理委託されている三高山小屋に宿泊し、関の山と三高山・白馬山・大法山を案内していただくことになった。高島会員は地元嘉麻市観光まちづくり協議会の「嘉麻トレッキング塾」講師として三高山のガイドをおこない、長年地域の登山愛好者への「自然に包まれ、触れて、学ぶ」を指導実践している。

14日(土) 天候：小雨

初日14日(土)は、あいにくの雨模様、道の駅「いとだ」に集合、庄内登山口駐車場に移動、午前10時すぎ登山開始し、関の山山頂(359㍍)、大山(295㍍)を経て登山口に午後2時すぎ下山した。近くの温泉で入浴し、三高山小屋に移動し、夕食の準備。本日のメインはすき焼き、持ち寄った銘酒を酌み交わし、山談義となる。

15日(日) 天候：小雨

2日目早朝から小雨が降り、足元が悪いが参加者全員やるき満々で午前9時10分出発。高島会員が先頭となり、まずは三高山(251㍍)を目指す、高島会員が日ごろから整備していて登山道も歩きやすい。展望台を経て午前10時山頂へ到着。

次は白馬山(261㍍)を目指す。やや足元も悪くなり、急登、急坂もあり低山にしては苦勞する。県指定天然記念物バクチノキを見ながら急登を過ぎると11時50分白馬山山頂に到着。次は大法山(232㍍)に向かう、田川市と嘉麻市の境界線に沿って登山道が続く。午前12時すぎ大法山山頂へ到着。昼食後、縦走路を戻る。途中、「イノシシの露天風呂」と名付けられた場所(ヌタ場)を通過する。野山ではイ

ノシシが泥水浴びをすることからヌタ場と呼ばれているそうです。(H26.10.9付西日本新聞でも紹介あり)午後2時45分元気よく小屋へ下山。

今回、会員にとって一度は行きたい三高山小屋での宿泊山行でしたが、日ごろから小屋をはじめ、登山道を整備し、管理している高島会員のご尽力には敬服するものがあります。今後は、多くの登山者に紹介し、山を愛するものとして定期的に訪れていきたいと考えています。

追記 三高山小屋の利用

13541 高島拓生

追記 13541 高島拓生

山小屋管理委託11年になります。観月会を平成17年から小屋で催し、併せて観梅会も楽しんでいます。この間、宿泊や来訪された方は、藤田傳会員の傘寿の祝宴会開催、福岡支部五十嵐氏、全国支部懇談会(北九州支部主管)での北海道支部長谷川氏、森武昭前会長など多数いらっしゃいます。伊藤支部長の叙勲受賞記念会などで多くの方にご利用いただきました。これからも、多くの登山者にご利用いただければと思います。



写真は露天風呂？

参加者： 9人

会員：伊藤久次郎、高島拓生、関口興洋、大木康子、榊俊一、大内喜代子、池田智彦、森義雄、歳弘逸郎

個人山行 穂高連峰縦走 9月18日(金)~9月22日(火) 念願の「槍ヶ岳から奥穂高岳への大キレット越え」 14916 赤瀬榮吉



写真 南岳山頂

9月18日(金) 天候：晴れ

山口県組7人、福岡県組3人計10人が、山口市内の吉田さん宅に集合。

10人乗りレンタカーに荷物を積み替える。この山行を企画し所用で不参加となった内藤さんから、今回のコースは展望が良く、眺めるときは立ち止まること。南岳(キレット前)で食料は使い果たし荷物を軽くすることなどのアドバイスをを受け、午後1時50分目的地あかんだな駐車場へ向け出発。車内で早々森CLの挨拶、稲富さんより事前配布された詳細な計画書(登山ルート、エスケーブルートほか)の説明があった。運転は男性陣7人が1~2時間で順次交代、高速道路を一路目的地へ。シルバーウィーク前日で渋滞を心配したが、平常通りの走行で、翌19日午前3時過ぎ、あかんだな駐車場に到着。

9月19日(土) 天候：晴れ

早々に身支度、あかんだなバス停よりシャトルバスに乗り、午前5時10分上高地バスセンターに着く。下車するとすでに多くの登山客で混みあっていた。

午前5時30分森CLより、2班編成(5+5)で行動すると指示あり、少し距離を置きスタートする。なだらかな樹林帯を、明神、徳沢園、横尾山荘と進み槍沢ロッジで昼食をとる。今日のテント設営地、ババ平へ午前11時15分着。さっそくテント設営、のんびりと時間を過ごす。狭いテント場は昼過ぎには満杯の盛況で、テントは河原まで延びていた。トイレは建替えしたばかりで、木の香りがし気持ちよく使用ができた。

9月20日(日) 天候：晴れ

午前3時起床、午前4時5分薄暗い中ヘッドランプ

を点け出発。水俣乗越分岐で、稲富さん、藤井さんの2人が南岳テント場確保のため直登、8人は水俣乗越から東鎌尾根ルートへ進む。尾根に出てしばらく進むと、槍ヶ岳の雄姿が正面に現れた。足を一步一步進めるごとに槍ヶ岳の姿が大きくなり紅葉の色を添え絶景であった。

午前9時50分槍ヶ岳山荘着。直登組とここで出会うが、テント場確保のためすぐに出発した。サブザックで混み合う槍ヶ岳を6人でピストン。山頂からの下りは15分待ちで、頂上でゆっくり眺望が楽しめ良かった。(吉田さん、森さんは槍ヶ岳山荘で待機)

槍ヶ岳山荘で昼食をすませ、午前11時30分山荘を出発。3000m越えの大喰岳~中岳~南岳を踏破し、午後2時52分南岳テント場に到着。テント場を確保していただいた先発隊の稲富さん、藤井さんに感謝です。テント場は平なところが少なく、小石混じりの傾斜地で、夜中何度もマットの上でずり落ち、気温も下がり浅い眠りでした。

9月21日(月) 天候：晴れ

午前3時起床 今日は大キレット越え、安全を期するため明るくなるまで、小屋で待機。午前5時18分小屋を出発、緊張の連続で岩稜帯を不慣れな方もいたが、無事踏破した。午前9時52分北穂高小屋に着く。小屋での食事を楽しみに頑張ってきたが、食堂は開店前で売店のカップラーメンで我慢する。ここで小西さんが体調不良で、涸沢テント場へ下ることを決断。吉田さんが同行、大谷さん、加藤さんも下ることになり、4人にテント1式を預けテント場確保をお願いした。ザックが重くなり負担をかけ申し分けなかった。テント設営に感謝します。

午前10時6人で穂高岳山荘に向い、午後1時7分到着。稲富さん、藤井さん、藤本さんが、体力を温存したまま涸沢へ下った。午後1時15分穂高岳山荘にザックを置き、サブザックで小林さん、森さん、赤瀬の3人が奥穂高岳をピストン。

午後3時穂高岳山荘から涸沢へ下る途中、一人が転倒し、打撲傷で歩くペースが落ちたが、日の明るいうちに無事自力下山。先着組が心配され涸沢小屋まで出迎えてくれた。(携帯電話は不通で心配をおかけした)



写真 北穂高岳山頂

涸沢カールは木々の紅葉がはじまり、テント場もカラフルなテントで埋め尽くされ、その数に驚く。夕食は初めて全員揃って涸沢小屋で食べた。この日はテント場へ戻るとすぐに就寝する。

9月22日(火) 天候：晴れ

午前3時30分起床 午前5時出発。今日は班の編成をとき、全員で本谷橋を渡る。午前7時42分横尾山荘、午前9時55分明神館、明神池橋を渡り、梓川の右岸を下る。木道で1さんが木道を踏み外し、川に落ちズボン汚した。途中、山岳研究所に立ち寄りお世話になった。午前12時7分上高地バスセンターに全員無事到着。

バスの発車時間の合間、めいめいお土産を購入、午後1時発のバスに乗り、35分であかんだな駐車場

到着。駐車場で荷物を整理し、栢尾温泉「荒神の湯」で5日ぶりの入浴でスッキリした。

温泉場向いの町1軒の食堂に昼食のため入ると穂高の山岳写真が数点飾られていた。ご主人(80歳)は不愛想であったが、山の話となり自慢話や苦勞話を聞くうち穂高岳山荘経営者の親戚の方でした。

今田重太郎さんや君子さん、三代目・今田恵社長の内輪話を聞くこととなり、少し長居した。

午後3時50分食堂を後に帰路に着く。高山市内に入るとシルバーウィークで往路のルートは渋滞で、北陸自動車での迂回となる。途中渋滞にあうことなく、翌23日朝5時過ぎ集合場所の吉田さん宅に無事到着、解散した。

終りに、初めての穂高連峰縦走が全日天気に恵まれ、絶景を心ゆくまで堪能できました。

また、今回レンタカー1台に全員乗り、車内で会話も弾み長時間の移動も苦にならず、楽しく、快適に過ごせ良かった。参加者の皆様、お疲れ様でした。また、機会がありましたら是非ご一緒させて下さい。

参加者：10人

会員：CL 森義雄、吉田克己、稲富榮、大谷恵美子、小林英世、赤瀬榮吉

支部友：加藤信子、

ビジター：SL 藤井恒介、小西敏史 藤本和代

個人山行 10月29日(木) 扇が鼻(1698[㍿]) ~ 岩井川岳(1522[㍿]) ドウダンツツジの九重紅葉鑑賞

15710 町元 里香



写真 扇ヶ鼻山頂

行程

瀬ノ本登山口9:00~牧ノ戸峠登山口9:10~
沓掛山10:00~扇ヶ鼻11:50/12:30~
岩井川岳13:15~瀬ノ本登山口14:45

天候：晴れ

朝5時、まだ暗いうちに出発。椎田付近で周防灘から大きくて真っ赤な朝日が昇った。耶馬溪から玖珠へ向かう途中の広葉樹の緑のトンネルは1カ月後には赤やオレンジ、黄色に染まるのだろう。

涌蓋山が見えてきた。円錐形のなだらかな山容はほんとうに美しい。CL丹下さんが伐株山、万年山、涌蓋山の昔話をしてくれた。長者原付近は紅葉が美しい。

瀬ノ本登山口で集合し、瀬ノ本登山口を下山するため車1台を残し、再び牧ノ戸峠登山口まで移動して登山開始。沓掛山から眺めるナベ谷の紅葉を楽しみにしていたが、残念なことに少し遅かった。

しかし一面のパノラマは素晴らしく、遠くに由布岳が見える。何も遮る物がなく真っ青な空を独り占めにした気分になった。ひんやりした澄んだ空気をお腹いっぱい吸いこんだ。扇ヶ鼻分岐から小笹とミヤマキリシマの中を登っていく。今年は

害虫の影響でピンクのじゅうたんを見ることができなかつた。来年はミヤマキリシマにきれいな花が咲きますように。扇ヶ鼻山頂に到着。東にそびえる久住山、阿蘇五岳と外輪山の雄大な景色に感動していると、CL丹下さんが与謝野鉄幹の短歌「大いなる師にちかづくに似たるかな久住の山に引かるる心」を読んでくれた。扇ヶ鼻から岩井川岳に向かう途中、紅葉には間に合わなかつたドウダンの落ち葉の上を歩く。夏のなごりの白い花を少しつけたノリウツギ。葉の露がキラキラ光ったイワカガミ。ほんとうに高山植物の宝庫だ。初夏のピンクや白の花たちを想像するとワクワクする。岩井川岳の枯れススキのなかで写真撮影。瀬ノ本登山口近くになるとアセビやミ

ズナラの落ち葉がフカフカのすごく気持ちの良い登山道を作ってくれている。無事、登山口に到着。

赤い大きな実をつけたマムシグサが出迎えてくれた。今回の山行で自然の恩恵に感謝し、謙虚に向き合う姿勢が大切だと再認識することができた。すべてに有難うと言いたい。

参加者： 5人

会員：CL丹下洽、丹下香代子、森義雄、
町元里香

支部友：藤原玲子

個人山行 12月3日(木) 門司区 三角山 (194㍎)

最高に素晴らしかったもみじ谷の紅葉！

北九469 藤原 玲子



写真 もみじ谷入口

天候：小雨のち曇り

一週間前の山行が雨で延期となり、待ちに待った12月3日(木)も午後から雨の予報で雲行きを心配しながら自宅を出発。午前9時に集合場所のJR門司港駅に到着。

午前9時10分三角山を目指して出発。駅から歩き始めると目の前に三角の形をした山が見え、今日登る三角山と丹下CLから教えていただいた。

登り始めると、標高が194㍎の低山ですが、傾斜がきつく地面は落ち葉に覆われて、足元が滑り、なかなか前に進めず伊藤支部長から歩幅を狭くと教えていただき、小幅でゆっくり登る。

頂上付近では、城壁と思われる石垣も残っていて、丹下CLから三角城跡の資料が配られ、歴史と史蹟の説明がありました。

風師山への車道に戻り、20分ぐらい登るともみ

じ谷に到着。鮮やかな紅葉が目の前に広がり、その美しさは想像以上のものでした。ゆっくり見たかったのですが、雨雲が気になり後ろ髪をひかれる思いで、次の目的地風師山風頭の展望台へ急ぐことになりました。

展望台に着いた途端、やはり心配していた小雨が降りだしました。風も強く、肌寒かったので、マナスル初登頂の日本山岳会元会長横有恒さんの記念碑と略歴碑を拝見し、関門海峡の景色を見ながら急いで下山しました。

本日の昼食は、途中の車道にある喫茶店「すいげつ」でとることになりました。丹下さんが事前に予約していたため、お客様も多かったのですが座ることができました。窓から見える関門海峡を眺めながらネギ焼きを食べました。

昼食後、雨も上がりもう一度もみじ谷の紅葉を見たいとの私の希望を皆さんが快く聞いていただき、再び車道を登ります。もみじ谷参道の入り口から階段を下って行くと、いろは紅葉がとてもきれいでした。木の下から空を見上げると、万華鏡みたいでいろんな色が楽しめて、地面はもみじのじゅうたんを敷きしめたようでした。

丹下CLのお知り合いのお話では3日前は茶色で良くなかつたそうです。寒暖の差で一気に色づいてきれいな色になったようです。(先週の山行が延びて良かったかなと)

今年は、紅葉のシーズンに登ってもなかなかタイミングが合わず、きれいな紅葉に出会うことができなかったのですが初めて見るすることができました。

今回の山行は、①丹下CLの山・歴史・花の説明、
 ②景色が良く美味しかった「すいげつ」での昼食、
 ③もみじ谷のすばらしい紅葉と三拍子そろい、とても楽しく充実した一日でした。

ご同行の皆さんありがとうございました。
 次回は矢筈山と風師山に登りたいと思いました。

参加者： 7人
 会員：丹下治CL、伊藤久次郎、原広美、
 丹下香代子、町元里香、森義雄、
 支部友：藤原玲子

12月30日(水) 英彦山山頂 トイレ大掃除！ トイレの神様との会話

15709 山中 秀正



写真 トイレの外にある水タンクは、凍ってつららが下がっていた

天候：晴れ
 (行程)

午前9時JR彦山駅集合、別所駐車場に移動し、
 午前9時15分登山開始、奉幣殿裏手へ出ます。

午前10時5分正面登山道の野鳥観察小屋、午前11時1分スビ神社、午前11時24分中岳山頂到着。昼食をとり、午前11時57分トイレ清掃開始、終了後下山開始。北西尾根、午後1時17分標識分岐、野営キャンプ場へ。キャンプ場でシカと遭遇。午後2時8分別所駐車場到着、解散となりました。

装備で簡易アイゼンを持ってきている方が、別所駐車場でおられました。山頂がマイナス2度で、水

関係が凍っていましたので自分の装備不足を反省しました。なお、山歩きで、南側に阿蘇の寝観音と北側に小倉の足立山まで見えました。これまで足立山まではなかなか見える機会がありませんでした。

(トイレ大掃除)

トイレの神様との会話をはじめます。清掃では、正面ドアを開け左下側の道具置き場にあるケースに入ったチェック表(左下)に記載しながら進めます。

まず、「トイレ清掃中」の垂れ看板を掲示します。清掃は拭き清掃です。(水は少量しか使えませんので拭き清掃をします。大量の水で洗い流すと、バイオチップの処理能力が低下します。)また、当日の水はマイナス2度で、タンクの中は氷状態です。

(左写真「つらら」になっていました)次に土、ほこりなどの掃き掃除です。写真の泥落としを外に出し隅にたまった土を掃きだします。この拭き掃除と掃き掃除が主な実作業でトイレの神様との会話でした。あとは、トイレ部屋や予備のトイレトーパーとかの数を在庫確認し、電源パネルを見て終了です。

こまめにトイレ清掃を行うことがきれいに使ってもらえることですね。高速道路のトイレの貼紙標語で「トイレをいつもきれいに使っていただいております」を見かけます。トイレを清掃し、トイレをきれいに使ってもらうはあい相違な関係です。

土曜日と日曜日は、登山者が多いので、トイレの神様との会話は、この日をさけた方がいいかな。

以上、バイオトイレは順調に稼働してありました。

北九州支部では、月に1回このトイレの清掃登山を行っています。

次回は、2月10日(水)、3月23日(水)が予定日です。

いつも、ご協力ありがとうございます。

英彦山トイレ清掃 チェック表

● 清掃記録 ● 気温 ● 清掃員番号

月	日	気温	清掃員
---	---	----	-----

● 清掃項目

項目	清掃内容	チェック	清掃方法
便器	便器の洗浄	<input type="checkbox"/>	トイレ用ブラシで便器の洗浄を行う。
	便器の消毒	<input type="checkbox"/>	トイレ用ブラシで便器の洗浄を行う。
	便器の乾燥	<input type="checkbox"/>	便器の乾燥を促す。
トイレドア	トイレドアの清掃	<input type="checkbox"/>	トイレドアの清掃を行う。
トイレトーパー	トイレトーパーの清掃	<input type="checkbox"/>	トイレトーパーの清掃を行う。
その他	その他	<input type="checkbox"/>	その他

表はトイレチェック表

● その他清掃項目

参加者： 6人
 伊藤久次郎、竹本正幸、竹本加代子、井上禮子、
 奥田スマ子、山中秀正

第2回指導者研修 10月4日(日) 15709 山中 秀正

天候：晴れ

午前9時血倉山ふれあいの家に指導員集合。

午前は講習、午後は実技のスケジュールとなりました。

○今回の研修では、指導員としての使命感と誇りを持ち、山岳界のリードオフマンとして責任と信頼で会員の安全と技術向上を図る指導概念を基本とする。そして、その内容は知識と自己研鑽カリキュラムについては、①スポーツ心理学、②スポーツ生理学、③スポーツ指導論、④スポーツ経営学、⑤スポーツ医学、⑥スポーツ行政、⑦自然保護、⑧生活技術/食料、⑨装備の有効活用、⑩対象に応じた指導内容と基礎理論(地形図・気象図・人間関係など)となりました。

○実技のテーマは、「各自の装備・持ち物でいかに確保をしていくか」でした。



講師：園川陽造顧問

受講者： 11人

竹本正幸、竹本加代子、縄手修、森義雄、町元里香、赤瀬榮吉、奥田スマ子、山中秀正、藤井信義、藤井淳子、伊藤友紀

第3回指導者研修 11月22日(日) 15709 山中 秀正

天候：曇り

午前9時血倉山ふれあいの家に指導員集合。

午前は講習、午後は実技のスケジュールとなりました。

○午前の講習内容は、

- 1.山岳技術の基本的研修・講習について
- 2.登山技術の向上と事故対策について
- 3.山岳事故対策(事前対策)
- 4.事故対策(救助システム)

○午後の実技は、各組3人4班に別れ、スタカッククライミングとコンテニユアスビレイで、先頭、中、後方3人が、どのように確保とザイルをコントロールしていくかの訓練でした。最初の写真は、2班のセカンドと後方がポイントにて待機し、3班の先頭が、ポイント地点にさしかかり確保しようとしているところです。

最後に、講師が最初の3班の反省点を指摘し、それぞれの役割説明をしていただきました。

また、ロープを使い簡易ハーネスを作り、道具の代用ができる等の説明もありました。



講師：園川陽造顧問

受講者： 11人

竹本正幸、竹本加代子、赤瀬榮吉、森義雄、歳弘逸郎、三浦利夫、町元里香、山中秀正、伊藤友紀、藤井信義、藤井淳子、

**◆募集します！
5月22日(日)実施
登山体力を測定してみませんか？
—セルフチェックのすすめ—
13533 磯野文雄**

登山は体力に負うところが大きい活動です。

登山体力は、鹿屋体育大学の山本正嘉教授が開発された「マイペース登高能力テスト」を利用して確認できます。これは、1時間でどれくらいの標高まで登れたかを計測し、自身の体力を数値(メッツ値)として把握します。

「メッツ値」とは、安静時(デスクワーク、立つ、寝るなど)を「1」として、その何倍のエネルギーを使うかを意味する単位です。例えば、2メッツでは「ゆっくり歩く、立ち仕事など」、4メッツでは「早歩き、ゴルフなど」、6メッツでは「歩行とジョギングの組合せ、エアロビクス」などがあげられます。

自分自身の体力を数値として把握することにより、トレーニングの成果や体力の衰えを数値によって比較し、より安全な登山を心がけてもらいたいと思っています。

今回は、門司駅を出発し、戸の上神社、瀧の観音

を経由して、戸の上山頂までのコースで行います。

下記の要領にて担当者まで、事前にお申し込みください。

なお、このコースは、ガレ場の多い難路ですので、山岳保険(生命保険は除外)等の保険に加入済みの支部会員及び支部友に限らせていただきます。

記

1. 期 日：平成28年5月22日(日曜日)
2. 集合場所：JR門司駅(南口)広場
3. 集合時間：午前9時～午前10時30分
(この時間帯に事前申込みした方は随時受け付け)
4. 実施方法：
 - ①受付後、資料をもらう
 - ②随時出発
 - ③山頂にてアンケート回収
 - ④解散(別ルートで下山)
5. 申込み期間：平成28年3月1日～3月31日まで
6. なお、持ち物(登山靴、ザック等)の重さは5kg程度の日帰りの装備を想定しています。
7. 申込み先：磯野文雄(090-4989-5961)、竹本正幸(090-6739-9251)まで。
ただし、連絡は午後5時以降にお願いします。

**支部総会日程決まる
同時に横有恒碑前祭と映画会も
開催予定
日程：5月14日(土)**

北九州支部の新年度の総会が決まりました。また、本年5月9日がマナスル登頂60周年記念日に当たることから、その日に近い5月14日(土)に総会と記念行事を同時に開催する予定で計画を進めています。

総会当日は、午前中に横有恒記念碑がある門司の風師山山頂で碑前祭を行い、午後は門司区の港灣施設(旧大連航路上屋)で「マナスルに立つ」の映画会を行います。終わって総会会場(門司駅の近くのラメール雅)に送迎バスで移動し、総会と講演を行う計画です。

なお映画会は一般市民にも観賞を呼びかけます。詳細については4月支部報に掲載予定です。

◆◆◆ 本の紹介 ◆◆◆

私の中の深田久弥
「日本百名山」以降の北の山紀行
著者：滝本幸夫
(前日本山岳会北海道支部長)

山を愛し、山で逝った深田久弥。

「日本百名山を記したのち、久弥が踏破した北の山々を主題に綴られる、山男たちの魂の交流」

久弥を北海道に呼び寄せた男が、40年の歳月を経てまとめ上げた鎮魂の書、ここに発刊

ご希望の方は事務局
まで240頁

定価：1,400円+税



「山の日制定記念イベント」山の文化展の開催について

- ◆出展申し込み 第1回締切 3月末まで
第2回締切 4月20日まで

今年から8月11日が「山の日」として国民の祝日になったことを記念して、山に親しむ機会を増やし、山の恩恵に感謝し、そして美しく豊かな自然を守り、次の世代に引き継いでいくことを銘記するために、北九州支部ではそのイベントとして山の文化展を開催することになりました。

内容は写真、版画、絵画などの展示、山の古道具の展示、日本山岳会北九州支部及び山の歴史などを紹介し、登山の相談や会員募集を行います。

1. 概要

- 日程：8月3日(水)から9日(火)までの1週間
(3日午前中作品搬入、9日午後4時搬出)
- 場所：門司港レトロの旧門司税関ギャラリー2F
- 主催：公益社団法人 日本山岳会北九州支部
- 後援：毎日新聞社ほか

2. イベント内容

○山の写真展

支部会員から自慢の山の写真を募集する。山に関するものであれば、ジャンルは自由。1人1点以上。サイズA4以上(A3が望ましい)。額は、同じデザイン統一のため、それに代わるものを実行委員会で準備予定～引き伸ばした写真を写真より2～3cm大きい白色発砲スチロール板のハリパネに貼り、それを更に5～6cm余白のある黒のプラダン(プラスチック段ボール)に貼って完成。出品できる方は写真のサイズと題名、点数等をお知らせ下さい。

○山の版画展

結成1年目の版画同好会メンバー(20点位を展示予定)および一般会員による作品の出品展示。作品のサイズ自由。

○絵画展

支部会員の水彩画、油絵など。1人一点以上。サイズA4以上。

○山の古道具展

過去に使われた山の古い道具などを展示する。会

員の中で古い道具などお持ちでしたら出品をお願いします。暇なときにルームまで持参下さい。
(なお、道具は整美にして持ち込みをお願いします)

○山の歴史展

日本山岳会の歴史をパネルにして紹介する。
目で見ると日本登山史(山溪の同名の図書から資料をつくり拡大コピーでパネル板を作る。

○北九州支部の紹介と支部会員の募集

支部15年の活動概要と写真でパネルを作成。
それと会員募集の呼びかけ。

○風師山とマナスル登山隊長横有恒について

地元の風師山は、マナスル登山隊長の横有恒元日本山岳会会長がマナスル登頂成功の翌年(昭和32年10月)に訪れた山で、現在その記念碑と略歴碑がある。また本年はマナスル登頂60周年にあたることから、毎日新聞社発行の「マナスル写真集」を山行資料としてパネルにまとめ、その歴史などを紹介する。映画「マナスルに立つ」など上映予定。

○ふるさとの山に登ろう「家族登山」

8月11日の山の日、ふるさとの山「風師山～矢筈山」へ家族登山を行う。山に登りスイカ割りなどを行うなど、そのPRと参加受付(資料～日本山岳会ホームページに掲載中の家族登山、門司区役所発行のパンフレット「山歩き・ガイドマップ」など)

○登山の相談や支部への入会PRと受付

会場に1人以上の会員(当番)が常駐し、相談や入会受付に当たる。

○その他、自然保護関係、公益活動、清掃登山、幼稚園児の登山サポート、講習会などの紹介

以上が計画の概略ですが、会員で出品できる方は、種類、点数などを3月末までに担当にお知らせ下さい。また資料作りや会場の当番にご協力できる方(特に地元の会員)もご参加のほどよろしくお願い致します。

(総合担当：伊藤久次郎、竹本正幸)

(申込受付 事務局・竹本正幸)

◇◇月例山行のご案内◇◇

支部会員、支部友会員による県外山行
(北九州支部エリア外)は「登山計画書」
を必ず事務局に提出しましょう。

平成28年1月の山行

●鶴見岳(1374㍎)

18人の参加がありました

●十種ヶ峰(989㍎)

交通機関など通行止めのため中止となりました

2月の山行

●大山(1729㍎)

リーダー：武永計介、竹本正幸

と き：2月20日(土)～21日(日)

場 所：大山下山キャンプ場テント設営

集 合：阿知須セミナーパークに7時

行 程

1日目：7:00山口出発～12:00南光河原駐車場着
～テント設営～雪上訓練

2日目：午前5:30テント出発～夏山コース～午
前9:00弥山～夏山コース～12:00下山
キャンプ場～テント撤収～13:00出発
～18:00山口

装 備：冬山装備一式(アイゼン、ピッケル等)

締切り：1月20日(水)で募集終了

(メンバー決まり次第ミーティングを開催します。)

●スキー講習会

と き：2月27日(土)～28日(日) 2泊3日

場 所：広島県スキー場(恐羅漢スキー場予定)

行 程：バスで現地まで、2日間講習予定

26日(金) 深夜小倉～27日(土) 恐羅漢着

27日(土) 終日・28日(日) 午前中講習会

28日(日) 午後恐羅漢発～深夜小倉着

※条件により変更があります。

参加者が少ない場合は中止となります。

申込み：池田智彦(093-331-6259)

締切り：2月3日(水)

3月の山行

●黒髪山(516㍎)佐賀県 クラス：初級

リーダー：三浦利夫、畑井教子

と き：平成28年3月13日(日)

集 合：9時30分 竜門峡キャンプ場駐車場

長崎自動車道武雄北方IC下車

(竜門峡キャンプ場TEL:0955-46-4022)

行 程：竜門峡キャンプ場駐車場～見返峠～

黒髪山～見返峠～

竜門峡キャンプ場駐車場

(縦走約4時間30分)

申込み：三浦利夫(携帯：090-2850-6020)

締切り：平成28年3月5日(土)

その他：昼食、飲料水、雨具、非常食、保険証
常備薬、着替え、その他

●青螺山(618㍎)～黒髪山(516㍎)

佐賀県 クラス：中級

リーダー：塚本久嘉、森義雄

と き：平成28年3月13日(日)

集 合：9時 竜門峡キャンプ場駐車場

長崎自動車道武雄北方IC下車

(竜門峡キャンプ場TEL:0955-46-4022)

行 程：竜門峡キャンプ場駐車場～青牧峠～

青螺山～見返峠～雌岩～黒髪山～後ノ平

～鬼の岩屋～二俣～

竜門峡キャンプ場駐車場

(縦走約6時間30分)

申込み：森 義雄(携帯：090-4475-7799)

締切り：平成28年3月5日(土)

その他：昼食、飲料水、雨具、非常食、保険証
常備薬、着替え、その他

●北浦スカイライン(前泊：くるみ小屋)

(済生会下関病院登山口～石畑峠)

リーダー：森義雄・井上佑

と き：3月27日(日)

集合時間・場所：27日は午前6時(場所：未定)

行 程：26日(土) 午後3時くるみ小屋集合・宿泊

27日(日) 午前6時集合～車で移動～

午前7時病院登山口～竜王山～鬼ヶ城～

午後5時石畑峠(約10時間)

申込み：森義雄(携帯090-4475-7799)

締切り：3月13日(水)

★当日参加も可能、ただし打ち合わせを行います。

平4月の山行

● 岩石山(454㍎)

リーダー：山中秀正・畑井教子

と き：4月3日(日)

集合時間・場所：午前8時50分添田神社前駐車場、JR線利用の場合は、午前7:00JR小倉駅発に乗り、8:34添田駅着

行程

岩石山を見て、左より周回ルートをとります。
駐車場～真愛寺(しんあいてら)先の川沿いの滝コースを通り～岩石山山頂～八畳岩(昼食)下山～白山宮奥ノ院～駐車場、解散。

帰路の列車は、13:59添田発～15:16小倉駅

申込み：山中秀正(携帯080-2754-8370)

締切り：3月24日(木)

● 市房山(1720㍎)

リーダー：森義雄・清家幸三

と き：平成28年4月2日(土)～3日(日)

集合：2日 午後3時：市房山キャンプ場

行程：3日 午前6時キャンプ場駐車場
神社駐車場6:30～神社～馬の背～市房山山頂(昼食)～神社
～13:30神社駐車場(約6時間)

申込み：森 義雄(携帯：090-4475-7799)

締切り：平成28年3月20日(日)

参加者は、事前打ち合わせを行います

その他：テント泊の装備、登山道具一式、
昼食、飲料水、雨具、非常食、
保険証、常備薬、着替え

※4月予定で、例年通り英彦山清掃登山を計画しています。

次回支部報(4月発行予定)で期日時間などはお知らせします。

◇◇支部主催 山行のご案内◇◇
野の花を愛で、史蹟を巡り、
のんびり山歩きを楽しみませんか
担当：丹下 洽

今年は年間を通じて計画しました。
ゆっくり鑑賞しながら歩きます。

●2月 門司往還 長崎街道

と き：2月25日(木) 地形図(古地図提供)

●3月 華山(ゲザン) 西の高野(修験の山)

と き：3月31日(木) 地形図(小月)

●4月 平尾台 春の野の山(オキナグサ他)

と き：4月28日(木) 地形図(苅田)

◆集合時間や行程についての問い合わせ先
丹下洽(携帯090-3732-8843)



平成28年3月6日(日) 海外登山・遭難対策研究会の開催

平成28年3月6日(日)福岡県山岳連盟主催の「海外登山・遭難対策研究会」が開催されます。

記

- 開催日時 平成28年3月6日(日)午後1時
- 研究会会場：
北九州市八幡西区黒崎三丁目15-3黒崎駅
生涯学習センター 会議室
- 研究会の内容
午前12時30分受付
午後1時開始 山岳連盟会長挨拶
・「カラコルム山脈ナンガバルパット北面訪問」
成末洋介氏
・「ニュージーランド マウントック登山」
溝尾幸一氏
・「ヒマラヤ山脈 アルナーチャル・プラデー
シュ州の山」渡部秀樹氏
・「ネパール大地震復興支援訪問報告」
山下建夫氏

午後5時終了予定

◆研究会終了後、懇親会を黒崎で予定
参加申し込み期限 平成28年28日(日)
会費：研究会2,000円、懇親会：4,000円程度

参加連絡先 菊澤(海外担当理事)
電話 FAX (093) 341-2667

会 務 報 告

●平成27年11月定例役員会議事録

1. 日時：平成27年11月4日(水)18:00～20:00
2. 場所：当支部ルーム(毎日会館 1F)
3. 参加者：伊藤支部長、板倉、日向、竹本、森、
縄手、武永、縄田、磯野、丹下、池田、
大木、大内、木原、馬場、
欠席者：なし
4. 議 題
 - (1) 会員の異動状況
 - ・通常会員：入会者：
15834小林英世、15855田中貴大
 - ・支部友：退会者なし
 - 通常会員：75人(74人)、支部友：45人(46人)、
会友：4人 計：124人(124人)
 - ※()は前回
 - (2) 会費納付状況：
 - 通常会員：6人未納(9月25日現在)
 - 支部友：7人未納
 - (3) 山行・行事報告
 - ・9月 6日(火)山岳専科 17人(縄手)
 - ・9月12日(木)右田ヶ岳～西目山 9人(大内)
 - ・9月13日(日)高祖山～叶岳 7人(大内)
 - ・9月12日～13日 第7回「山こん」in英彦山
1人(伊藤支部長)
 - ・9月13日(日)「植物の観察研修会」立花山
7人(磯野)
 - ・9月27日(土)岩登り平尾台唐手岩 11人(板倉)
 - ・9月26日～27日支部長、事務局長会議
2人(東京)
 - ・10月4日(日)指導員研修会・血倉山
11人(竹本)
 - ・10月10日～11日広島支部との交流登山
由布岳 8人+18人(森)
 - ・10月25日(日)岩登り教室、陶が岳
11人(竹本)
 - ・10月28日(水)山行委員会(7人)
 - ・11月2日～3日宮崎ウエストーン祭 11人(森)
 - (4) 山行・行事計画
 - ・11月14日(土)～15日(日)関ノ山・三高山
 - ・11月22日(日)指導員研修会(血倉山)
 - ・11月16日(月)山行委員会
 - ・12月5日(土)、6日(日)110周年記念式典・年次

- 晩餐会(東京：新宿) 13人
- ・12月12日(土)、13日(日)
北海道支部50周年記念式典 1人
- ・12月19日(土)血倉山～権現山
北九州支部忘年の集い(あじさいの湯)
- ・1月17日(日)鶴見岳(赤瀬、清家)
- ・1月24日(日)十種ヶ峰(内藤)
- ・1月19日～22日スキー講習会 蔵王(森)
- (5) 支部合同会議報告(竹本)
- (6) 役員会は1回/2ヶ月 奇数月の水曜日、
山行委員会は偶数月の水曜日
- (7) 他支部への支部友の参加について
その都度支部長の判断で決める
- (8) 風師山遭難救助訓練について(磯野)
実施日の決定・支部報に掲載(12月19日打
合わせ)
- (9) 山岳会指導員検定試験の結果：
6人の指導員を決定(B級：1人 C級：5人)
承認
- (10) 来年の「山の日」記念行事及び文化展の
開催準備(8月3日～9日)
- (11) 森林保全巡視委員(20人)の活動状況(磯野)
- (12) 北九州支部紹介のパンフレット作成
(総会后印刷) たたき台：磯野
- (13) 本部晩餐会110周年記念式典への参加
(本の販売等)
- (14) 忘年の集い オークションへの出品依頼
役割分担
- (15) 交通費の精算基準について
：月例山行は 距離×35円÷乗車全員

その他

- ・第32回全国支部懇談会(越後支部)
申込み期限12月15日
- ・京都・滋賀創立30周年記念式典
申込期限1月31日

次回役員会は 1月13日(水)の予定です。

以 上

●平成28年1月定例役員会議事録

1. 日時：平成28年1月13日(水)18:00～20:00
2. 場所：当支部ルーム(毎日会館 1F)
3. 参加者：伊藤、日向、板倉、竹本、磯野、
丹下、大木、池田、縄田、縄手、森、
馬場、木原、
欠席者：武永、大内

4. 議 題

- (1) 会員の異動状況
- ・通常会員 入会者：なし
：退会者 なし
 - ・支部友 入会者：原 容子(54才)
：退会者 なし
 - ・通常会員：75人(75人)、
支部友：46人(45人)、会友：4人
計：125人(124人) ※ () は前回
- (2) 会費納付状況 支部友：6人未納
- (3) 本部関係
- ・支部長会議報告(12月5日)
準会員制度の新設について
 - ・初級登山教室指導者養成講座
(3月5日13:00~6日16:30) 長野県小諸市
 - ・平成28年度支部事業計画書：承認、
本部に送信します。
 - ・平成28年度支部予算書同上
 - ・全国支部懇談会越後支部(4月9日~10日)
参加予定3人
 - ・京都、滋賀支部創立30周年記念
(4月23日~24日) 締切り1月31日
- (4) 山行報告(縄手山行委員長)
- ・11月14日(土) 関ノ山・三高山(9人)
 - ・11月22日(日) 指導員研修会・血倉山(11人)
 - ・12月19日(土) 血倉山~権現山(19人)
 - ・1月9日(土) 山行委員会28年度山行計画(12人)
- (5) 行事報告
- ・12月5日(土)~6日(日) 110周年記念式典・
年次晩餐会(東京：新宿)13人
新永年会員：5998松野賢珠(81才)
新入会員：15710町元里香、15806清家幸三、
15855田中貴大
 - ・12月12日(土)~13日(日)
北海道支部50周年記念式典1人(関口)
 - ・英彦山バイオトイレ清掃報告
11/18(2人)、12/30(6人)
 - ・忘年の集い報告(森)36人参加
オークション(23,300円)
次回は日曜日の開催検討。
- (6) 山行計画(縄手山行委員長)
- ・1月17日(日) 鶴見岳(清家、赤瀬)18人
 - ・1月19日~22日スキー講習会(蔵王)森1人
 - ・1月24日(日)十種ヶ峰(内藤)14人
 - ・2月26日~29日スキー講習会(池田)
 - ・2月13日~14日指導員研修会(星生山)
(山中)13人
 - ・2月6日(土)~7日(日)
- 九重山(縄手、内藤)は中止する
- ・2月20日(土)~21日(日) 大山(竹本、武永)
 - ・3月13日(日) 黒髪山(佐賀県)
 - ・3月27日(日) 北浦スカイライン
(くるみ小屋前泊)(森、井上)
- (7) 行事計画
- ・1月29日(金) 指導委員会新年会(山中)
 - ・1月31日(日) 岳人の集い
(大宰府館14:00~16:00) 締切り1月25日
- (8) 第17回通常総会の日程と場所⇒総会は5月14日(土)に決定 会場は丹下、竹本で探す。
- (9) 風師山遭難救助訓練は延期する。
- (10) 「安全登山プログラム」の
具体化について(磯野)
登山体力測定を5月22日(日)に戸ノ上山にて
実施する。詳細は支部報に掲載。
- (11) 森林保全巡視委員(20人)12月19日委嘱状
授与、一斉巡視活動の計画(磯野)
- (12) 年間山行計画報告(山行委員会)(縄手)
- (13) 幸幼稚園卒業記念ハイキング(丹下)
まだ日程が決まっていない。
- (14) 「山の日制定記念イベント」
山の文化展の開催準備(8/3~8/9)
- (15) 進捗状況
- ・北九州支部紹介のパンフレット作成、
総会後に発行予定。
 - ・支部旗の作成図案検討中
- (16) その他
- ・支部報1月号の発行スケジュール
1月下旬発送予定。
 - ・1月21日(木) ポレポレ会で四王司山を計画
 - ・総会の講師依頼(伊藤支部長)
- 次回役員会は 3月2日(水)の予定
以 上

九州シカ広域一斉捕獲の実施

平成28年3月九州シカ広域一斉捕獲計画が実施されます。期間中の入山はご注意ください。

1 対象区域

福岡県：添田町・朝倉市・東峰村・豊前市
みやこ町、上毛町、築上町、うきは町、行橋市
川崎町、赤村

他に、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

2 実施期間(平成28年3月)

(1)一斉捕獲期間：平成28年3月20日(日)
～3月27日(日)

(2)一斉捕獲日：3月20日(日)、27日(日)

◎詳細の問い合わせ先

九州森林管理局保全課 (TEL096-328-3542)

園川教室シリーズ“ビデオ完成”

過去の山岳技術専科シリーズを記録したもので、園川先生の全ての知識・技術がこれで学べる貴重なビデオです。

現在3シリーズまで完成。各シリーズ1枚700円でお分けします。

(なお、売り上げのうち500円は支部のルーム資金となります)

○シリーズN01

2008年撮影、テーマ①遭難対策とレスキュー技術、②基本的なロープワーク

○シリーズN02

2011年撮影、テーマ①初級クライミング技術と確保、②有効なクライミング装備の活用

○シリーズN04

2012年撮影、テーマ①雪上技術の実践
(撮影・編集・制作：伊藤久次郎)

坊がつる讃歌版画バンドナ販売中

残りわずか9枚

忘年の集いで販売しましたが、バンドナ(1枚1000円)があと9枚残っています。

ご希望の方は、森または伊藤久次郎までご連絡ください。なお、売り上げはルーム資金と歌碑建設資金へ寄付いたします。

売り切れ後は、九重の法華院温泉荘のみでの販売となります。



小倉サロンは
毎月第4週の
水曜日に開催
しています

場 所：小倉北区魚町「コール天」

申込み：森義雄 (携帯090-4475-7799)

小倉 サロン

1 1月27日(水) 午後6時から

2. 2月24日(水) 午後6時から

3. 3月23日(水) 午後6時から

博多 サロン

1. 2月4日(木) 午後6時30分より

・場所：中央区天神2-6-42 平和楼3階
旬魚旬菜「てんじん」(092-771-9143)

・申込み：赤瀬榮吉 (携帯090-7475-9748)
携帯電話かショートメールで



居酒屋「コール天」

●小倉北区魚町1-2-23 桧山ビル2F

●TEL:093-522-0565

●JR鹿児島本線 小倉駅南口から
中央銀天街方面に向かい徒歩5分
北九州支部は毎月(第4週水曜日)の
サロンでお世話になっています